

第5章 観光推進体制

1. 推進体制

今後、本計画のめざす姿を実現していくためには、第4章で述べた具体的な取り組みを町全体で進めていくことが重要です。そのためには、町民・事業者・行政などが一体となり、それぞれが役割と責任を担いながら、互いの理解を深め、連携し、情報共有していくことが観光推進体制の強化につながります。町民・事業者・行政それぞれの役割のもと、官民協働と地域連携を意識し、「町民や事業者」「(一社) 神奈川大井の里体験観光協会」「大井町」が協力し、地域一体で観光推進体制の強化に取り組みます。

■各主体の役割

各主体	役割
町（行政）	観光施設の整備など、観光振興を図る上で必要となるインフラ整備を推進します。また、町の関係部局間での連携を図るとともに、国・県をはじめ、関係市町村や観光関連団体、民間事業者、町民との協働による取り組みや調整を行い、総合計画や本計画に基づく施策を推進します。併せて、各主体が取り組む事業を支援し、観光による地域の活性化を図る役割を担います。
(一社) 神奈川大井の里体験観光協会	観光振興の中心的な役割を担う民間団体として、会員や関連団体等との連携を図りながら、まちの賑わいを創出するため、交流体験事業を核に各種事業を実施します。また、観光情報を収集のうえ、WEB サイトや SNS で発信するとともに、積極的な観光プロモーションを実施する役割を担います。
観光関連事業者・観光関連団体	地域経済の主役である農業、商業、工業、NPO 法人を含めた団体などの観光関連団体の取り組みが重要です。観光産業の担い手として、各自が持つノウハウの質の向上に取り組むとともに、行政や観光関連団体、事業者間との連携強化により、本町の魅力向上に努める役割を担います。
町民の役割	本町を訪れた方に満足していただくためには、町民一人ひとりが温かく迎え入れ、本町の魅力を伝えることが重要です。そのためには、町民それぞれの立場で郷土に誇りと愛着を持ち、観光まちづくりに参加・協力することが求められます。

2. 進捗管理の仕組み

本計画のめざす姿を実現するために、計画に基づく事業推進における進捗管理を定期的に行う必要があります。PDCA サイクルのもとで、計画を実行し、それを進捗評価・改善、そして必要に応じて計画を見直すプロセスが求められます。ウィズコロナ・アフターコロナを通じて多様な旅のスタイルの変化が生じています。また、これら以外にも、様々な要因から内外の情勢や環境が変化すると考えられることから、計画期間中であっても必要に応じて計画の見直しを行っていきます。

■PDCA サイクルイメージ

目標数値を設定した計画策定
■成果検証・施策見直しを
ふまえた計画の見直し



計画に基づく事業推進
■行政での事業推進
■町民・事業者などでの
事業推進

検証結果を踏まえて
必要な事業を検討、
必要に応じて、計画を改定
■行政での施策見直し
■観光事業者などと
の協議による事業見直し

目標数値の達成度や進捗状況の
把握を通じて、計画の成果検証
■目標数値の確認
■ロードマップの検証
■町民・観光事業者などからの
意見聴取

本計画の進捗管理については、学識有識者や観光事業者、各種団体などで構成する会議「大井町観光振興推進委員会（仮称）」を組織して開催することとします。本会議は、毎年2回程度開催し、本計画の進捗管理及び評価を行います。また、本計画は多様な分野での取り組みが求められるため、「庁内連携会議」により指標や施策の進捗を関係部局と調整を行いながら進めます。

■進捗管理のための会議体

会議体	役割
大井町観光振興推進委員会（仮称）	観光施策に関わる町民、事業者、行政などの機関が連携し、観光振興に必要な取り組みを一元的に管理する体制を整備することで、本計画の進行管理や施策の評価をはじめ、観光ニーズの変化などに対応します。
庁内連携会議	総合的な観光振興の推進やそれらに関する関係部局間との調整などを行い、進行管理シートを作成し、指標と施策を関連付けるほか、施策の進捗を確認するとともに、課題を整理し、施策や事業の見直しを検討します。